

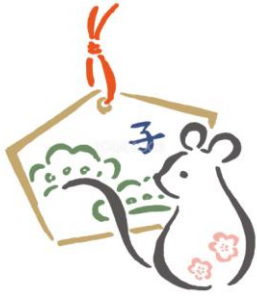


横浜市立相沢小学校

# 学校だより

1月号

R2.1.8



## チャンスを活かす

校長 海老澤 孝代

明けましておめでとうございます。保護者、地域の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。子どもたちは新年を迎え、気持ちを新たに頑張ろうと、元気に登校してきました。

今年は庚子（かのえ・ね）年。新しいことにチャレンジするのに適した年だそうです。新しい時代の令和になりました。そして学校では、新しい学習指導要領に基づいて指導を行っていきます。気持ちを新たに進んでいきたいです。

昨年、リチウムイオン電池を開発しノーベル化学賞を受賞した吉野彰さんは、これからの地球環境問題、地球温暖化に対し、貢献できることが大変うれしいとインタビューで答えていました。研究を世の中に広めて世界を変えようという夢を抱いていた吉野さん。よく研究仲間に未来予想図を語るそうで、スマートフォンのワイヤレス充電と同様に電気自動車の充電がワイヤレスになると予想しているそうです。この何度でも使えるリチウムイオン電池は、現在スマートフォンやノートパソコン、電気自動車などに利用されています。今後もその活用範囲はどんどん広がっていき、将来の私たちの生活はこのリチウムイオン電池によって大きく変わっていくことでしょう。世の中の役に立つことは何かを考え新しいことを生み出すためには、研究に対する粘り強い執着心と開発を続けていくのかどうかを見極める柔軟性の、両方なくてはいけないとも話されていました。リチウムイオン電池を初めから開発・研究していたのではなく、様々な可能性を見つけてたどり着き、そして「これだ！」と決め多くの実験を重ねに重ねて、今日に至っているのです。周到な準備、多くの実験や開発の中にリチウムイオン電池というチャンスを見つけたのです。準備も計画も予測も何もないところにチャンスはないのです。

外国には、チャンスの神様は長い前髪しかないということわざがあるそうです。目の前に来たらすぐに掴まえないといけません。迷っているうちにチャンスは目の前から一瞬で逃げていってしまいます。もし通り過ぎたら絶対に掴めないからです。そう、チャンスは常に準備された人の身にやってくるということです。

小学校時代は、大きく羽ばたくための準備のとき。まず自分の好きなことを見つけ、行動していきましょう。チャンスは必ずやってきます。そのチャンスを見逃さないために準備をしていくという一年にしていきたいです。これからどうしたいのか、どのようになりたいのか、将来の夢を目標に子どもたちが頑張っている姿を保護者、地域の皆様に温かく見守っていただきたく、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



**学びあい 認めあい 支えあい**  
**夢をはぐくむ あいざわっ子**